

廃材で遊ぼう！

年少りす組 7月

○活動のきっかけ○

年長児が廃材で作ったものを持って遊んでいるのを見て、自分たちも何か「作ってみたい」という言葉が聞こえ始めた。いろいろな材料を前に、何を作ろうかと考えている子ども達。

クラスで好きなものを製作

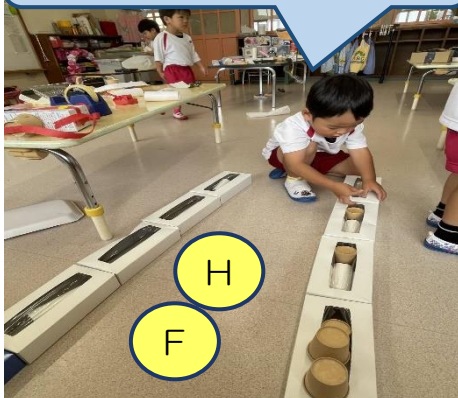


J

B

きりん組さんみたいなメガネを作ろう！

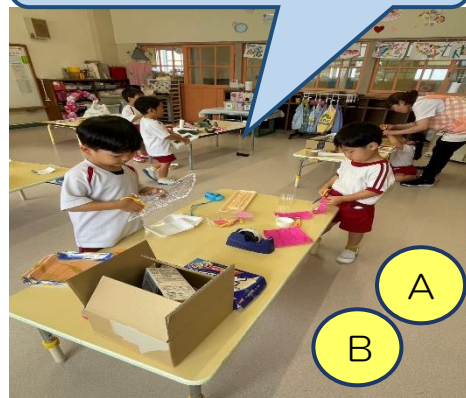
長～くつなげて新幹線にしよう！



H

F

はさみで切りたいけど、固いものは難しいなあ...



A

B

すごい！いろんなものがあるね～♪

わいわい祭り

C

I

F

何でできてるのかな？

どうやって作ったのかな？

ここを切りたいけど難しい

箱に穴を開けるの手伝って



いいよ！

I

C

なかよしタイム

F

切ってあげる！

そうやって切ればいいんだね。

発表タイム

初めは廃材を前にしても具体的なイメージが湧きにくい様子だったが、「わいわい祭り」で多様な作品を見たり、「なかよしタイム」で異年齢の友達に手助けしてもらったりしながら関わる中で、表現の幅が大きく広がった。発表タイムでは、自分の作りたいものを形にし、友達の前で自信を持って発表することができた。

ケーキを作りました！



I

いいアイデアだね！

そんな作り方もあるんだね！

ガチャガチャを作りました！



も

J

テレビを作りました！



A：健康な心と体

D：道徳性・規範意識の芽生え

G：自然との関わり

I：言葉による伝え合い

B：自立心

E：社会生活との関わり

H：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

J：豊かな感性と表現

C：協同性

F：思考力の芽生え